



參拾五部ノ内第 15 號

御前會議報告第二號

世界情勢判断

昭和二十年六月八日

概ネ昭和二十年末ヲ目途トスル世界情勢ノ推移ヲ判断シ今後ノ戦争
指導ニ資セントス

第一 敵側ノ情勢

主敵米國ハ出血ノ累加「ルーズヴェルト」ノ死去、歐洲戦争ノ終
結ニ伴フ戦争倦怠氣分等戦争指導上ノ機ヲ包藏シツツモ尙豊富ナ
ル物力ヲ以テ單獨ニテモ速カニ對日戦争ヲ終結セシメントスル戰
意旺盛ニシテ對日作戰強行ニ邁進スベシ英國ハ歐洲戦争終了後ナ
ルベク早期ニ終戦ヲ希望シアルヘキモ對日戦争指導ハ米國ノ主導
スル所ナルヲ以テ大勢ヲ左右シ得サルヘク結局英國ハ全世界ニ於

37

ケル米國トノ協調ノ必要性就彼ノ豫想スル戦後ノ東亞處分ニ際ス
ル自國ノ發言權確保ノ爲對日戦争参加ヲ繼續シ且在東亞兵力ヲ増
強スヘシ重慶ハ延安トノ抗爭及「ソ」ノ動向ニ關シ苦惱ヲ藏シ居
ルモ尙米ノ利用ニ依ル對日戰機遂ト其ノ國際的地位ノ向上ヲ企圖
シ米ノ支那大陸又ハ日本本土作戰ニ呼應シ積極的反攻ヲ展開スヘ
シ

以上ノ大勢ニ拘ラス特ニ歐洲ニ於テハ米英對「ソ」ノ角逐漸次表
面化シ來リ又米英重慶相互間ニモ戦争目的ノ不一致アリテ反樞軸
側結束ハ弱化ノ傾向ニアリ。然レドモ妥協ニ依リ當面ヲ糊塗スル
ニ努ムヘク彼給陣營ノ結束ハ遽カニ崩ルルコトナカルヘシ但シ帶

38

39
國勢雖然トシテ長期戰完遂ニ退進シ大出血ヲ強要シ本年後期ニ至
ラハ敵側ノ繼續意志ニ相當ナル動搖ヲ生來セシメ得ルコトナシト
セス

德ニ「ソ」ノ動向

「ソ」ハ歐洲戰ノ終結ニ伴ヒ歐洲ニ對スル戰後處理竝自國ノ復興
ニ勉ムルト共ニ大東亞戰爭ニ對シテハ自主的立場ヲ持續シツツ機
ニ臨シ東亞就中滿支方面ニ對シ勢力ノ伸張ヲ企圖スヘシ
而シテ帝國ニ對シテハ累次措置ニヨリ要スレバ何時ニテモ敵對關
係ニ入り得ル外交態勢ヲ整ヘ居ルト共ニ東「ソ」ノ兵備ヲ強化シ
ツツナルヲ以テ益々政略的壓迫ヲ加重シ大東亞戰況帝國ニ甚ダシ

00 37

0477

ク不利ニシテ自己ノ犠牲少シト判断スル場合ニ於テハ對日武力發
動ニ依ル野望達成ニ出ツル算大ナリ然レトモ總ノ東亞進出ニ對ス
ル牽制的意味含ヨリシテ比較的早期ニ武力行使ニ出ツルコトナレ
トセサルヘシ

其ノ時期ハ敵ノ本土又ハ中北支方面上陸ノ時期、北滿ノ作戰的氣
象條件及東「ソ」兵力集中ノ狀況等ヨリ見テ本年夏秋ノ候以降特
ニ警戒ヲ要スヘシ

尙「ソ」トシテハ米ノ希望ノ實現ヲ助ケカネテ自己ノ意圖達成ヲ
目途トシテ我ニ對シ米トノ和平ヲ圖要スル場合ナシトセサルヘシ

第三 東亞ノ情勢

一、太平洋方面

米英ハ有利ナル戰勢ニ乘シ帝國本土ヲ成ルヘク速カニ大陸ヨリ分
斷スルト共ニ熾烈ナル航空作戰ニ依リ帝國ノ無力化ヲ策シツツ一
舉ニ帝國本土ニ對シ短期決戰ヲ企圖スヘシ之カ爲南西諸島ニ於テ
更ニ徹底セル戰果ヲ擧ケ得サレハ之カ攻略ニ引續キ附近基地ヲ擴
充シ六月下旬以降直路九州四國方面、狀況ニ依リ朝鮮海峽方面ニ
對スル上陸作戰ヲ強行シ次イテ初秋以降決戰作戰ヲ關東地方ニ指
向スルノ算大ナリ

又對日基地獲得及「ソ」支政略ヲ目的トスル中北支要地作戰ヲ行
フコトアルヘシ尙失地回復及對支補給等ヲ目的トシ本土及其他

ノ作戰ト併行的ニ中南支沿岸作戰ヲ企圖スルコトアルヘシ歐洲戰ノ
終結ニ伴ヒ夏季以降相當量ノ敵就中大型飛行機ノ來攻ヲ豫期シ置ク
ノ要アリ

三、支那方面

重慶ハ米ノ支援ニ依リ基幹戰力ノ米式強化ヲ圖ル一方空軍ノ増勢ト
相俟テ米ノ作戰ニ策應シ秋季以降對日全面的反攻ヲ實施スルノ爲
大ニシテ米ノ進出積極化スルニ伴ヒ大陸戰線亦眞ニ重大ナル局面ニ
遭逢スルモノト豫想セラル

又我カ占據地域ニ對スル敵特ニ延安側ノ遊撃反攻ハ益々激化セラル

ヘシ

43

重慶ト米トノ關係ノ現況ニ照シ當面日支間ノ全面和平ヲ實現セシムルコト至難ナルモ支那ノ再戰場化。米完勝ニ依ル東亞制覇ノ前途ニ對シテハ一抹ノ不安ヲモ包藏シアルト共ニ他面延安方面ノ浸潤擴大就中ソノノ壓力増大ノ可能性ニ就テハ深刻ナル苦惱内在シアリ

三、南方方面

緬甸方面ニ對シテハ引續キ陸海空ノ壓力加重ニ依リ同方面ニ於ケル

我が戰政略態勢ハ緊縮スルノ旨ヲ得サルニ至ルヘシ又敵ハ太平洋方面ノ攻勢ト關聯シ「ボルネオ」上陸作戰ヲ加強シ又近ク馬來半島、一スマトラ、及其ノ他要地ニ上陸シ政謀略ヲ強化シツツ逐次爾他各地域ヲ蠶食シ其ノ要域ノ奪回ヲ企圖スヘシ

四 大東亞諸邦ノ動向

大東亞諸邦ハ大東亞戰局ノ推移ト敵側政謀略ノ激化ト相俟ツテ對日
非協力態度漸次表面ニ露呈シ中ニハ遂ニ敵性化スルモノアルニ至ル

判 決

今や戦局ハ帝國ニ取リ極テ急迫シ歐洲盟邦モ既ニ崩壞シ「ソ」ノ對
日意向亦最モ警戒ヲ要シ帝國ハ眞ニ存亡ノ岐路ニ立チ居ルモ敵亦著
惱ヲ包藏シ短期終戦ニ狂奔シツツアリ

從ツテ帝國ハ牢固タル決意ノ下必勝ノ闘魂ヲ堅持シ皇國傳統ノ忠誠心
ヲ遺憾ナク發揮シ速カニ政略施策ヲ斷行シ以テ戰勝ノ神機ヲ捕捉ス
ルニ遺憾無カラシムルヲ要ス